

# エルサレムを 出て行くリーハイ

だい3しょう



**主**はリーハイの行いをおよこびになり、ある夜、ゆめの中で、リーハイに話しかけられました。主はリーハイに、かぞくをつれてエルサレムから出て行きなさい、とおっしゃったのです。リーハイは、主がめいじられたとおりにしました。(1ニーファイ2：1-3)



リーハイのかぞくは、家や金ぎんをエルサレムにのこし、食べものどてんまくだけをもって、あれ野へ出て行きました。(1ニーファイ2：4)



リーハイのつまの名前は、サライアといました。二人には、レマン、レムエル、サム、ニーファイという4人のむすこがいました。(1ニーファイ2：5)



3日後に、リーハイのかぞくは、川のほとりの谷にてんまくをはりました。(1ニーファイ2：6)



そこでリーハイは、石で一つのさいだんをきずき、神にささげものをささげて、かぞくがほろぼされずにすんだことを神にかんしゃしました。(1ニーファイ2：7)



リーハイはその川をレーマンと名づけ、谷をレムエルと名づけました。リーハイは、むすこたちがこの川や谷のようにたえまなく神のもとにながれこみ、神のいましめをしっかりとまもるようにねがったのです。(1ニーファイ2：8-10, 14)



レーマンとレムエルは、ざいさんをおいてエルサレムを出て行くなんて、お父さんは何ておろかなのだらうとおもっていませんでした。エルサレムがほろびることを、まったくしんじていませんでした。(1ニーファイ2：11, 13)



しかし、ニーファイはリーハイが見たことをもっと知りたいとおもっていませんでした。そして、お父さんがエルサレムを出たのは、正しいことなのかどうか分かるようにおいのりしました。(1ニーファイ2：16)



すると、イエス・キリストがニーファイをおとすれ、リーハイの言うことは正しいとおっしゃいました。ニーファイはお父さんのことばをしんじ、レーマンやレムエルのようにさからいませんでした。(1ニーファイ2：16)



ニーファイはにいさんたちに、イエスから知らされたことを話しました。サムはしんじました。でも、レーマンやレムエルはしんじようとしませんでした。(1ニーファイ2：17-18)



主はニーファイに、「あなたはしんこうがあるのでしゆくふくされます。あなたは兄たちのしどうしゃになるでしょう」とおっしゃいました。(1ニーファイ2：19-22)